



感謝



### 友人の皆さん、

私たちが愛される神は、私たちがご自分の計画にしたがって生きるよう望まれます - そうするとき、はじめて私たちは真の満足と幸せを見いだすでしょう。神は語られますが、この世と私たちの環境、私たち自身、また悪魔も、私たちに語り、あれやこれや行うよう促します。識別は、これら語りかけるもの、あるいは内面の動きの源を特定し、神のみ旨に一致するものを選ぶために、祈りのうちに歩むプロセスです。識別は、稀な特別なとき、例えば結婚を決めるとき、司祭職を目指す、宣教師として志願すると決めるときにだけ必要になるものではありません。識別は日々必要です。例えば、勉強するか、くつろぐか、あるいは困っている人を助けるか、人から受けた被害について黙っているべきか、あるいは報告するべきか選ぶ際に識別します。識別は平和をもたらし、私たちの神との絆、人々との絆を強めます。私たちがキリストの愛と知恵をもって生きる助けになります。ですから、日々識別を行う習慣を培う必要があるのです。

*Jose Kutianimattathil*

● 養成部門

ジョゼ・クッティアニマッタティル神父,  
SDB

## 識別の賜物に感謝します



決断する際、どのような選択肢があるかを知ることが大事です。知らないことは選択肢として考慮しません。そのため、自分にどのような選択肢があるのかを知ることが大事なのです。たくさんの選択肢があることは、決断する際に、必ずしも混乱に陥らせるわけではありません。むしろ選択肢は、比べることによって、明確な理解の助けになります。

選択肢はいつも存在します。どのように選べればいいのでしょうか？ 何を**選択の基準**にすればいいのでしょうか？ 3つの基準があります：

- a) この選択によって、私はより良い人間になるだろうか？ 自己実現から出発し、自分を超越することへ向かわせます。
- b) この選択によって、周りの人はより良い人間になるだろうか？ 自分の枠を超える、他者への自己贈与という意味で、自分自身を超えること。
- c) この選択は、私を主により近づけるだろうか？ 自己を超える、人間として自分の枠を超えるだけでなく、宗教的な自己超越に至らせるもの - プネウマに生かされること - 聖霊に従って生きることへと。もはや自分、あるいは人のために生きるにとどまらず、神という他者のために生きるいのち。

また、識別において共に歩む**霊的指導者がいることも大切**です。霊的指導者は、識別の歩みに神の視点をもたらします。選択肢を選ぶ動機を明らかにし、深め、挑戦を投げかけることさえするよう、助けます。霊的指導者は、明白でないこと、気づいていないことを、また、ご自身へと人を招かれる神の視点を「見て」、「考慮し」、宣教へと遣わされるよう、その人と共に歩みます。

識別の**歩みには、時間をかけなければなりません**。必ずしもすぐに識別できるわけではありません。すぐに決断できたことも、確証が必要です。識別の時間は、決断を地に足のついたもの、よく根を下ろしたものに作る助けになります。こうして、その人は、主との生きた体験から確証を与えられます。

そのために必要となる、3つの**重要な養成的介入**があります：

- a) サレジオ会生活と使命のための活動を十分に体験すること、共同体で生活する体験。
- b) 体験したことを記録する。体験が単なる活動や経験に終わることなく、学びの体験となるように。
- c) 識別の過程を歩む個人、グループに、指導者（霊的指導者および、さまざまな養成の段階の担当者）が同伴する。

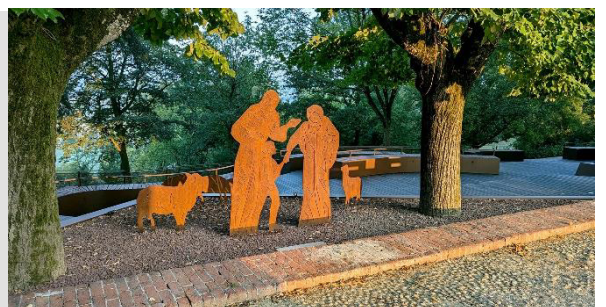
結果的に私たちは、サレジオの宣教召命の識別を助けるだけでなく、**識別を行う人となる**よう、その人を助けるのです。共に歩んでもらう同伴の恵みを、私たちは感謝します。そして、養成部門が主催するサレジオ会霊的同伴コースの主たる目的は、個人の霊的同伴という奉仕を提供できる、サレジオの霊的指導者を育成することです。

● 養成部門

レイモンド・カリョ修士, SDB

### 振り返りと分かち合いのために

- 生活の中で識別をどのように行ってきたか、今、どのように行っているだろうか？
- 識別の歩みのなかで、これまで、あるいは今も、私にとって鍵となる人は？



# 宣教の召命の識別は どのように行われる？



レジナルド、宣教部門の宣教師養成コースのリーダーとして、最新の状況に合った良い宣教師養成を行うために、今日最も大切なことは何だと思えますか？

宣教師の養成を支援するため、宣教部門は3つのコースを提供しています：宣教地に赴く宣教師のためのCorso Germoglio（新芽）；宣教活動中の宣教師、あるいは宣教のテーマについて最新のことを学びたい人のためのCorso Respiro（息吹）；そして70歳以上の年配の宣教師のためのCorso Sorgente（源泉）です。宣教部門は、これらのコースを通して、宣教生活を生きるために一人ひとりの会員の助けとなる要素を強めたいと願っています。

そして今日の宣教のため、最新の状況に合わせた良い養成に必要なのは、第一に、現代の宣教師であることは今日生じるニーズに注意を払い応えることを意味する、と意識することだと思えます。世の中で、教会で、さまざまな状況の中で生じるニーズです。

すべての民へAd Gentesの宣教師になりたいと望む人のために、どのような識別、同伴の歩みがありますか？

海外への宣教師となる召命は、注意深い識別が必要です。霊的指導者に助けられながら行う、徐々に進む漸進的な歩みです。初期養成の段階にある場合、院長と養成チームに助けられます。宣教師の召命を識別する基準と過程は、「ドン・ボスコのサレジオ会員の宣教への養成」（サレジオ会、ローマ、2014）でわかりやすく説明されています。しかしいくつかの要素を強調しなければなりません。

宣教師として宣教地に趣くのに、年齢制限はありません。会員は院長、管区長、霊的指導者と相談したうえで、宣教に趣く用意があることを伝える手紙を直接総長に書くことができます。総長は、受け取った手紙を宣教顧問に渡します。宣教顧問が候補者との対話を開始し、続けます。管区長と管区評議会に関わってもらい、候補者の適性を確認するため、書面での意見を求めます。候補者が初期養成を受けているなら、院長と支部評議会に書面での意見を求めます。管区長と管区評議会（また院長と支部評議会）から好意的な意見を受け取ったうえで、宣教顧問は総長と共に、ニーズやその年に優先しなければならないこと、可能な派遣先について検討を行います。宣教顧問は、各宣教派遣のメンバーの派遣先を最高評議会に提示します。

候補者は、識別の最終段階としてイタリアのサレジオ会ゆかりの地で行われるCorso Germoglioに参加し、その終わりに、ヴァルドッコの扶助者聖マリア大聖堂で行われる派遣式で、総長からサレジオの宣教の十字架を贈られます。



レジナルド・リマ・コルデイロ神父, SDB

私はブラジル、マナウスの、サレジオ会宣教地 **ブラジル・アマゾン**管区 (BMA) の出身です。サレジオ会員として、宣教促進、青少年司牧の管区担当者、学校長、養成支部院長、ブラジルとラテンアメリカにおける**先住民族の神学**の省察を行う顧問を務めてきました。ローマの教皇庁立サレジオ大学UPSで神学を学び、ウルバノ大学で**宣教論の修士**を取りました。

現在は、ローマのドン・ボスコ・サレジオ会総本部の**宣教部門メンバー**で、宣教師養成プログラムに協力し、サレジオ宣教資料館に助言するアドバイザーチームのまとめ役を務めています。



フォーラム

## イグナチオの識別

- 体系的な方法論：神の働きかけによる霊の動きと、神から引き離すものを見極めるための精密な方法論。
- イグナチオ的な離脱：無秩序な執着を持つことなく、神の望まれる選択を受け入れる用意のある心。
- 共に歩む同伴：歩みを助ける霊的指導者が必ずいること。

## サレジオの識別

- 道理、信仰、慈愛：予防教育法に基づき、識別は、信仰を土台とし、理性的で、兄弟愛のある環境の中で行われなければなりません。
- 家庭的な精神：識別は個人的な事柄にとどまらず、共同体的であり、家庭的環境において行われます。
- 教育的な楽観精神：人間が基本的に善であることに信頼を置きます。

## 7月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

### 感謝 > 識別

#### サレジオ会の意向

宣教師となる呼びかけを感じる者のための霊的識別の機会に、またその同伴者に感謝します。

教皇フランシスコの祈りの意向 > 識別を行う養成のために



管区養成担当者